

## ロジスティクス環境会議

### 第11回省資源ロジスティクス推進委員会 議事録

I. 日 時：2005年9月27日（水） 10:00～12:00

II. 場 所：東京・港区 浜松町東京會館 39F ゴールドルーム

III. 出席者：23名

IV. 議 案：

- 1) 事前アンケートの集計結果について
- 2) その他

V. 開 会

定刻、山本委員長により、開会が宣された。

VI. 議事の経過

1) 事前アンケート結果について【資料1】

事務局より資料1に基づき、当委員会メンバーを対象に行った、事前アンケートの集計結果について説明が行われた後、以下のような意見交換がなされた。

委 員：荷主調査の「発・着荷主、物流事業者と調整しながら改善したい取引条件」として、「時間指定納品」が最上位になっている。

発注から納品までのリードタイムが短いことに要因があるのではないか。

リードタイムが短くなると受入先の整備（準備）が間に合わなくなる。

委 員：物流事業者調査の「問10、改善した取引条件」については、設問の意図がわからない。

事務局：誤って物流事業者向け調査の設問にも入ってしまった。本来は荷主向け調査のみの設問になる。

事務局：物流事業者向け調査の「荷卸するまでの待機時間」の回答で予想以上の待機時間があった。平均ではないため、例外ケースではあると思われるが、本件に対する意見をいただきたい。

委 員：納品時間を決められていても、ドライバーは渋滞等による遅延を回避するため、早めに到着するケースが多い。

委 員：時間指定は良くないという風潮が一部にあるが、計画性がない納品時間を設定すると、納品のトラックが列を成すことになる。

時間指定ということに対して「計画性」があるか否かを分ける必要があるのではないか。

委 員：受け入れる側として、時間を指定する必要があると認識している。

指定の方法が問題であり、事前に出荷情報などが入手できないと受け入れ体制を整えることが出来ない。

以上の意見交換を踏まえ、具体的なヒアリング調査活動を進めていくことが確認された。

## 2. 閉 会

以上をもって全ての議事を終了し、山本委員長は閉会を宣した。

以 上